

洗足学園音楽大学

# 大学院 室内管弦楽団

## 第11回 定期演奏会



### プログラム

W.A.モーツアルト／歌劇「後宮からの誘拐」序曲 K.384

J.ハイドン／チェロ協奏曲第2番 ニ長調

独奏：佐藤 晴真

ベートーヴェン／交響曲第6番 ヘ長調 田園

指揮：吉田 行地



オーケストラ 洗足学園音楽大学・大学院室内管弦楽団



チェロ独奏

佐藤 晴真 Sato Haruma

ミュンヘン国際音楽コンクール第1位

ルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位

©ヒタキトモコ

2020年11月6日(金) 19:00開演 18:30開場

会場 洗足学園 前田ホール

### △新型コロナウィルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

## 大学院室内管弦楽団



指揮者：吉田 行地（本学講師）

ルーマニア国立サトウ・マーレフィル、ルーマニア国立トルグムレシュ交響楽団、札幌交響楽団、東京交響楽団、名古屋フィル、大阪フィル、広島交響楽団、九州交響楽団、大阪市音楽団、東京佼成ウインドオーケストラなどに客演。2004~2010年 NPO 法人中部フィルハーモニー交響楽団指者。クラシックにとどまらず、劇団四季のミュージカル、J-POP 歌手オーケストラコンサートの指揮者等、多彩な音楽活動を行なっている。早稲田大学を経て、1991年洗足学園音楽大学付属指揮研究所入所。1996年同研究所了。指揮を秋山和慶、河地良智、尾崎晋也、湯浅勇治の各氏に師事。

日本大学芸術学部客員教授。洗足学園音楽大学、桐朋学園大学非常勤講師。



独奏チェロ：佐藤 晴真 Haruma SATO, cello

現在、その将来が最も期待される弱冠 21 歳の新進気鋭のチェロ奏者。2019 年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めました。18 年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第 1 位および特別賞を受賞している。1998 年名古屋市出身。第 67 回全日本学生音楽コンクール チェロ部門高校の部第 1 位および日本放送協会賞、第 83 回日本音楽コンクール チェロ部門第 1 位および徳永賞・黒柳賞など、多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共に演奏を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。20 年はズヴェーテン指揮香港フィルとの日本ツアーや、サンクトペテルブルク、ミュンヘン、バーゼルなど、国内外でオーケストラとの共演、リサイタルを予定。16 年度東京藝術大学宗次特待奨学生。18 年度ロームミュージックファンデーション奨学生。使用楽器は宗次コレクションより貸与された E. ロッカ 1903 年。弓は匿名のコレクターにより貸与された F. Tourte。



## Program

### W. A. モーツアルト (1756-1791) / 歌劇「後宮からの誘拐」序曲 K. 384

W. A. Mozart / Die Entführung aus dem Serail K. 384 Overtures

### J. ハイドン (1732-1809) / チェロ協奏曲 第 2 番 ニ長調 作品 101 Hob. V11b:2

J. Haydn / Cello Concerto No. 2 D-dur op. 101 Hob. v11b:2

### 休憩 (15 分)

### L. v. ベートーヴェン (1770-1827) / 交響曲第 6 番 ヘ長調 作品 68 「田園」

L. v. Beethoven / Sinfonie Nr. 6 "Pastorale" F-dur op. 68

## 曲目解説

### W. A. モーツアルト (1756-1791) / 歌劇「後宮からの誘拐」序曲 K. 384

W. A. Mozart / Die Entführung aus dem Serail K. 384 Overtures

身分の高い娘コンスタンツエが航海中、海賊に襲われ二人の召使いと 3 人で太守セリムに捕まり後宮に囚われてしまう所から物語が始まる。青年ベルモンテは恋人のコンスタンツエを救い出そうと後宮に潜り込み脱出しようとした時、運悪く捕まってしまう。しかし、セリムは過去に哀しい事があった事もあり 4 人を思いやり解放する。4 人はセリムに感謝し故郷に向けて旅立つ。今回演奏する序曲はとても軽快な曲調の主題を持ち中間部には第一幕の最初にベルモンテが歌うしんみりとしたアリア入るとしても綺麗で楽しい曲となっている。モーツアルトの作品ではあまり使用されていないピッコロフルートやトライアングル、バスドラムなどで華やかさが増強されているのも聞き所である

(解説：院 2 年 打楽器 島津 翠)

### J. ハイドン (1732-1809) / チェロ協奏曲 第 2 番 ニ長調 作品 101 Hob. V11b:2

J. Haydn / Cello Concerto No. 2 D-dur op. 101 Hob. v11b:2

ハイドンのチェロ協奏曲で真作とみなされているものは、《第 1 番》と《第 2 番》の 2 つ存在する。この《第 2 番》は、1783 年に作曲されながら、他人の作品かと疑われた時代があり、1954 年に自筆譜が発見されてようやく本人の作品と認められた。ハイドンのオリジナル版における弦楽器群の編成は、室内楽に近いほど小規模なものであり、しかもチェロは 1 本で、独奏をも兼ねる形となっている。第 1 楽章の親しみやすいテーマは形を変えて作品全体に出てくる。第 2 楽章はオーボエと弦楽器のシンプルな伴奏の上に独奏チェロが叙情的な旋律を奏でる。第 3 楽章は技巧的で心が浮き立つような華やかなロンドを奏して曲を締めくくる。

(解説：院 1 年 チェロ 有馬 憧)

### L. v. ベートーヴェン (1770-1827) / 交響曲第 6 番 ヘ長調 作品 68 「田園」

L. v. Beethoven / Sinfonie Nr. 6 "Pastorale" F-dur op. 68

1808 年にウィーン郊外のハイリゲンシュタットで作曲された。

5 楽章からなり、それぞれの楽章に描寫的な表題がつけられている。3 楽章から 5 楽章までは休みなく続けて演奏され、実質 3 楽章と 5 楽章の間の長い插入句といえるトロンボーンとピッコロを用いた雷と嵐の楽章は、和声的にも不安定であり、他の楽章の不思議なほどの穏やかな安定性を際立たせている。

第 1 楽章 Allegro ma non troppo (田舎に着いたときの愉快な気分)

第 2 楽章 Andante molto mosso (小川のほとりの情景)

第 3 楽章 Allegro (田舎の人たちの楽しい集い)

第 4 楽章 Allegro (雷と嵐)

第 5 楽章 Allegretto (牧歌：嵐のあとでの喜びと感謝)

(解説：院 2 年 ヴァイオリン 山口 亜純)

# 大学院室内管弦楽団

## Concertmistress

林 桃子 山口 亜純

## 1st Violin

成田 叶 木村 蒼 押見 純代  
大塚 樹里\* 三島 彩\* 橋 純子\* 福田 菜々子\*

## 2nd Violin

高橋 沙織 北川 乃梨子 濱 萌香 菅野 稚子  
蛇名 桃子\* 筆氏 くらら\* 菱田 あゆみ\* 雨川 笑子\*

## Viola

有福 佑依 大森 陸 リチャード ZHANG WEICHEN  
落合 なづき\* 安藤 玲奈\* 三輪 紫乃\*

## Violoncello

有馬 憧 岩原 奈美\* 原 美月\* 橋本 総司\* 羽川 真介b

## Contrabass

吉田 智海 本橋 和樹\*

## Flute

尾崎 ゆか 永田 博雅 前原 希美 LI HUAYU

## Oboe

持田 夏希 三輪 桃子

## Clarinet

伊藤 仁美 森 卓也\*

## Bassoon

興津 謙\* 春山 竜也\*

## Horn

國井 沙織\* 大塚 季\*

## Trumpet

富岡 愛彩美\* 荒木 あかり\*

## Trombone

望月 稜香 松本 弥津希\*

## Timpani

島津 翠

## Percussion

角田 和渉 LIU JIN 石川 まみ

\* 演奏補助要員 b 教員

## 企画運営責任者

渡部 亨

## 指導教員

吉田 行地 水野 佐知香 吉村 知子 大野 かおる 古川原 裕仁 羽川 真介  
篠崎 隆 田渕 哲也 松本 健司 勝俣 泰 府川 雪野 古田 俊博  
石井 喜久子 井手上 達

## アカデミックコーディネーター

古川原 裕仁

助手 中村 日向子